

明大生の就職先

2024年ランキングの

第1位は、東京特別区72人、

第2位は、国家公務員(一般職)67人です。

これらの公務員になるためには、
「公務員試験」を
突破しなければなりません。

しかしながら、この「公務員試験」は
大学入学試験以上の範囲と知識量、
そして公務員として人々の暮らしを
豊かにしたいという志が求められます。

すなわち、ただがむしゃらに
勉強しているだけでは合格することが
難しい試験と言わざるを得ません。

当研究所では、1・2年生は
和泉キャンパスで民法・憲法・経済学・
政治学・行政法・数的処理など
基礎力養成講座を実施。

3・4年生は駿河台キャンパスで
応用力養成のための講座ならびに
論文や面接指導、官庁訪問対策など
年間で800コマを超える学内講座を
設けています。

私たちが
行研をご紹介します

CrossTalkMember



法学部法律学科・65期
羽成佳祐
東京都庁

政治経済学部政治学科・65期
小林隼磨
人事院(国家一般職)

文学部史学地理学科アジア史専攻・65期
菅原愛美
東京出入国在留管理局

商学部商学科・65期
坂口楓菜
財務省財務局

2025
careeras
PublicServant

行政 研究所

行政研究所に 入ったきっかけ

羽成：公務員試験の予備校を探して
いるときに行政研究所を見つけて、
民間の予備校と比べてみて全体的
にメリットが大きいと感じたから
ですね。

菅原：私は高校生の時から公務員と
いう仕事に漠然と興味を持ってい
ました。そんな時、明治大学のイ
ンターネットで行政研究所を見つ
けて入室を決めました。

坂口：行政研究所の存在は知ってい
ましたが、所属はしていませんで
した。ですが2年生の時に公務員
試験を受けるか迷っていて、学校

でのサポートが受けられる点に魅
力を感じて入室しました。

小林：僕は1年生から行研に所属は
していましたが、正直なところ1、
2年の時はあんまり講義に出席し
ていませんでした。3年になるタ
イミングで行政研究所の幹部にな
り、それがきっかけで多くの講師
や先輩、同期とのつながりが増え
たことは、とてもよかったと思
います！

こんな風に 行政研究所を 活用していました

小林：1、2年の時はオンライン中
心に講義を受けてました。だけど

こんな
ところ！



■関野喬先生
明治大学行政研究所や
大手資格試験予備校で
長年指導に従事。近年
はYouTubeでの発信
にも注力している。
担当科目：数的処理・
自然科学・面接対策



3年になってからは、授業も対面で出るようになり、自習室や談話室を毎日使っていた記憶があります。

坂口：私は自習室以外にも、大教室で講義動画を視聴するなど、3年生になってからは猿樂町校舎を大いに活用しました。

菅原：勉強でいえば、参考書は、先輩が残してくれたスー過去（スーパー過去問ゼミ）を譲ってもらったり、事務室にある過去問500を借りて、全部自分で買い揃えなくていいのも助かりました。

羽成：それに事務室には、先輩方の体験に基づく官庁訪問や面接の記録が残っています。最終関門となる、採用に関わる情報が詳しくまとめられています（持出禁止）。ネットでは公開できない貴重なノウハウなども事前に閲覧することができ、緊張せずに臨めました。また、同じ目標を持つ人（仲間）と情報を共有したり、士気を高め合えたことが良かったです。

ここ数年で公務員試験は大きく変化しています。昨年から2年生で国家公務員総合職（教養区分）、今年から3年生春に一般職（教養区分）が受験可能になります。早い段階で数的処理や文章理解を学習すると、その後のスケジュールに余裕が生まれます（就活にも使えます）し、歴史や地理、理系科目の幅広い学習は、皆さんがこれからの大学生活で学ぶ内容の基礎にもなります。大学で学ぶ学問の基礎と、就職に向けての対策を合わせて効果的に行っていきましょう。

みんなで頑張ろう！



行政研究所って こんな ところ！



■図書コーナー
参考図書の貸し出しや
新聞を常に見覧できる
環境があります。
先輩からの「官庁訪問」などの
就職活動にかかわる
お宝資料（持出禁止）があります。



仲間や先生とも
関係を深めることができます！

行研究生の特権。 OBOG（先輩）との 繋がり

小林：自分が気になっている省庁のOBOG（先輩）がいないか、よく事務室に確認してもらってました。実際に、5人の先輩と会って話を聞くことができました。

菅原：私は先生方に先輩方と繋いでもらいました。志望先であり憧れの先輩には面接対策から悩み相談まで乗ってもらいすごく助けていただきました。官庁訪問は省庁によって形式がかなり違うので、対策しにくいと言われてますが、先輩方の応援と支援のおかげで東京入管の採用を勝ち取ることができました。

モチベーションを 上げる。 気分転換や 自分へのご褒美♡

坂口：勉強に煮詰まってしまった時は、家で自分の好きな動画や映画を見たりして気分転換しました。また、寝たり、音楽を聞いたり、友達と話して不安を解消しました。

菅原：私もとにかく友達と話す時間を大事にしました！ なんとなく話を聞いてもらえるだけで気持ち軽くなったりするし、一人で抱え込まずに誰かに相談できる仲間の存在がありがたかったです。

坂口：それに、私は家で集中できないタイプだったので、家に勉強を持ち込まない代わりに、自習室にいる間や通学時間で集中するという、メリハリをつけて勉強するようにしていました。

菅原：細かい目標を多く立てて、達成した時に自分にご褒美をあげて

講義は 対面出席を オススメします

坂口：私は国家総合職（経済区分）が第一志望だったので、平野先生の授業は対面で参加しました。蜂巢先生のミクロマクロ経済学や経営学、TACの統計・計量経済学はほぼオンデマンド受講でしたが、必要な経済科目はすべて勉強しました。

羽成：僕は国家総合職（法律区分）を第一志望としてたので、法律科目を中心とした講義に対面で出席しました。ただ、学部の講義の関係で出席できないときや体調を崩したときはオンデマンド（動画視聴）も活用してました。自分の性格上、オンデマンドだと動画を溜めてしまうと分かっていたので、対面で参加するように心がけていました。

ましたね。公務員試験に向けてずっと気を張っていても疲れてしまうので、オンオフの切り替えをしっかりして、趣味や遊ぶ時間も適度に設けていました。



行研イベントの 思い出

羽成：総会ですね。先輩方の話を聞くことで、自分の進路を決める際にとても参考になりました。それに、まさか話す側として参加した後輩たちに自分の経験を伝えることになるとは思ってなかったもので、そういった意味でも印象に残っています。

菅原：私は3年の夏に参加した2泊3日の清里セミナーハウスでの合宿が一番思い出に残っています。普段授業を受けていても同期とじっくり話す機会がなかったので、合宿を通して仲良くなれたことが嬉しかったです。

坂口：官庁訪問の際に政策の知識が不足していたのをすごく痛感しました。コロナの影響を受けた世代なので、行研の思い出というよりも、先輩方が実施していた政策研究ゼミなど、勉強以外にも議論できる場を作ってみたいと思いました。

新入生の みなさんへのエール

菅原：ご入学おめでとうございます。行政研究所は公務員を目指す学生にとって最高の環境が整っています。行政研究所での生活を通して、仲間と切磋琢磨しながら合格をつかみ取ってほしいです！それに、自分の公務員試験を振り返ると、行政研究所がなかったら今の自分はいないと思います。進路について悩むことも多くあると思いますが、少しでも公務員に興味をもつ



65期生
(2024年度卒業)
リバティータワー2階
陽だまり広場

小林：懇親会とか交流会みたいなものを開催して、仲を深めるイベントがあると、もっと行政研究所での活動が充実すると思います!!

他学部の人にも出来るので、
交友関係が広がるよ!



ていたら、ぜひ行政研究所に入所して、本当に自分のやりたいことやなりたい姿を見つけてみてください。

小林：行政研究所は、ただ公務員試験に合格するためだけではなく、「学生生活を送るうえで、最高の仲間ができる」ことが魅力です！勉強や就活のころを振り返ると、一緒に頑張る友達の存在には、とても支えられました。かけがえのない仲間を得ることができる、行政研究所を自信を持ってお勧めします。そして、このパンフレットを見てください。皆さんが、少しでも行政研究所という場所に興味を持ってください。

羽成：自分の夢や、やりたいことを実現させるのに、行政研究所は一番良い場所なのでフル活用してほしいです。公務員試験は長丁場のため、精神的に辛いことが多いと

思います。そんな時こそ行研生同士で助け合いながら頑張ってください。そこが行政研究所の良いところのひとつでもあります。私たちOB・OGも皆さんが必要とすればいくらでも協力します。OBの1人としてみなさんのことを心から応援し、活躍を期待しています。

坂口：行政研究所は、公務員を目指す皆さんを、先生方やOB・OGの先輩方などが全力で支えてくれます。同じ目標を目指す大学の仲間も身近な存在です。振り返ってみると、公務員試験のことを何も知らずに行政研究所に入りました。結果的に入って正解だったと思っています。なぜなら、この恵まれた環境のおかげで、試験や面接を乗り越えることができたと感じるからです。少しでも公務員という職業に関心を持ってパンフレットを開いてくれたなら、ここでの勉強やバックアップがみなさんの力になることと信じて、入室を決めてもらえたら嬉しいです。

和泉キャンパス(リエゾン棟)
TEL : 03-5300-1448
E-mail : izgyosei@cmm.meiji.ac.jp
受付時間 : 月～金 10:00-18:00
(昼休み13:30-14:30を除く)

駿河台キャンパス(猿楽町校舎)
TEL : 03-3296-4420 FAX: 03-3296-4315
E-mail : gyoken@cmm.meiji.ac.jp
受付時間 : 月～金 9:30-18:00



行政研究所って
こんな
ところ！

卒業前にみんなで記念写真を
撮ったのも良い思い出!



年間スケジュール

行研の様々なイベントは、行研生たち自ら企画・運営しています。これらのイベントを通して、「ヨコのつながり」同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、「タテのつながり」先輩や講師の指導を受けます。

私たちが
67期の行研執行部を
務めています！

合宿や講演会などを
企画しますので、
宜しくお願いします。

副企画長
太田空良
(農3)

幹事長
前田晴奏
(政経3)

副幹事長
鬼澤宏樹
(法3)

模擬試験
(1・2年生)

秋学期総会
(1・2年生)

行研運営を2年生幹部が
引き継ぎます。
終了後は4年生による
合格体験座談会などが
行われます。

OBOG
懇親会(2・3年生)
(隔年開催)

様々な場所で勤務する
先輩方の貴重なお話を聞き
繋がる機会です。

GD・GW 対策
集中講義(秋)

夏合宿
(2年生参加必須)

3年生の幹部学生が引率します。
昨年は1泊2日
@清里セミナーハウスで
行われました。

ガイダンス &
入室試験

春学期

秋学期

67期執行部からのコメント

- ・2年生の時に参加した、合宿などを通して素敵な仲間ができました！(合宿長・藤田)
- ・授業だけでなく年間イベントを通じて同じ志の仲間と出会えたり、OBOGの先輩方から直接話を聞くこともできるためモチベーションを維持しながら学習できます！(幹事長・前田)
- ・身近な友達と一緒に目標に向かって進むことができ、励まし合いながら勉強を進められる環境が整っています。(総務長・小林)
- ・同じ教室で学ぶ同期とのヨコの繋がりに加えて、先輩やOBOGとのタテの繋がりがあのも行研ならではです！(副幹事長・鬼澤)
- ・公務員を目指す明大生にとって、理想的な学習環境が整っています！興味のある方はぜひ行政研究所へ！！(企画長・高島)

行政研究所だけじゃない！
就職キャリア支援センターの
公務員支援

M-Careerに登録すると、個別相談やOBOG名簿閲覧、GD・面接会等の選考対策イベント参加など就職活動のサポートを受けることができます。行政研究所での勉強や活動にプラスして、就職キャリア支援センターも積極的に利用しましょう。



M-Career
<https://meiji.pita.services/career>

総務長
小林旺太郎(法3)

ようこそ
行政研究所へ！

企画長
高島 樹
(法3)

対面式

1・2年生が一堂に会し、
年間行事の説明がされ
係りなどを決めます。

春学期総会(1・2年生)

合宿の詳細連絡などが
行われます。
終了後はOBOG講演会などが
企画されます。

GD・GW 対策(1・2年生)
集中講義(春)

とは？

人物試験などでは
GD(グループディスカッション)や
GW(グループワーク)の対策を
しておくことが必要不可欠です。
春と秋に実施される集中講義で、
知識よりも体験がモノを言う
GD・GWのレベルアップに
取り組みましょう。

大学生活ってどんな感じ？

4つの質問で見えてくる 行研ライフ！

履修モデル

Case 1



法学部・65期
倉持早桜里
国家専門職(国税専門官)

ある日の一日

6	6:00 起床
7	
8	
9	9:00～17:00
10	大学講義
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	18:00～22:00
19	アルバイト
20	or
21	ボランティア
22	
23	
24	24:00 就寝

Q1 1・2年生の時はどんな風に過ごしていました？

3・4年時に公務員試験に時間を割くことを念頭に置き、1・2年では大学講義にしっかり出席して上限単位を取りきる事を意識していました。

行研ではオンラインと対面を併用して、自分の生活に合わせた勉強スタイルやリズムを見つけ、**1週間の授業を溜めこまない**ことを重要視していました。

勉強だけでなく、執行部に挑戦したり、課外活動で**幅広い年代の方と関わり合う事**を意識しました。

長期短期関係なく様々なボランティア活動やアルバイトをし、その中で興味関心のある分野の知識を深めたり、長期的に付き合っていくことになる人や友人たちとの出会いがありました。

結果的に、**将来の自分にたくさんのお土産を持たせてあげることが出来ました。**

Q2 勉強のお供は？

勉強のお供はアイスコーヒー、お気に入りのマグカップとハンドクリームとお菓子！とストップウォッチです。

Q3 勉強が嫌になったときは…

一回全部やめてみるのも、一つの手です。

また、行研の先生方やOGOB、友人と話をしたりして、その時の不安の解消や自分の選択があっているのかの**相談や、将来の夢を語ったり**していました。振り返ると豊かで愛おしい時間です。

Q4 スマホとの付き合い方は？

気づけば一日中電源を切っていて夜に連絡をとって終わり、なんて日もよくありました…。

また、スタディサプリという勉強記録アプリのアカウントを友人たちと交換して**勉強時間や、やったことの記録をし、お互いにモチベーションを維持**できるように…何てこともたまにしていました。

1・2年生のときの過ごし方☆



履修モデル

Case 2

政治経済学部・65期
齋藤大晴
国家専門職(財務専門官)

ある日の一日

6	
7	7:00 起床
8	
9	9:00
10	自宅で講義
11	(オンライン)
12	
13	
14	
15	15:00
16	大学で講義
17	
18	17:30～20:30
19	行研講義
20	
21	
22	
23	
24	24:00 就寝

Q1 1・2年生の時はどんな風に過ごしていました？

1・2年生の間は、3年生以降の試験勉強に集中できるようにするため、**卒業要件をできるだけ埋める**ことに力を入れていました。

当時はコロナ禍の影響でオンラインの授業も多い状況だったので、2コマ連続している講義でオンラインであるものは優先して履修していたと思います。また、**バイトも初めて経験することが多かった**ので環境になじめるように頑張りました。

土日は基本的に自由に過ごしていて、遊びに出かけるか自宅でゆっくりとしていたことが多かったと思います。

Q2 勉強のお供は？

勉強のお供はガム、飴、ラムネなどの**味が長持ちするもの**です。

Q3 勉強が嫌になったときは…

勉強が嫌になったときは無理に取り組もうとせず、**少しだけでも進める**ことは意識していました。

また、仮眠やゲームなど**好きなことを**することでリフレッシュしていましたね。

Q4 スマホとの付き合い方は？

特に基本、制限などはしないで自由に使っていました。**勉強するときは始める前に通知や返信をすべて消化**して、気になることがないようにしてから始めていました。